

LDP-FD32 V01

DIGITAL PHOTO STOCKER

LDP-FD32 ユーザーズマニュアル

Logitec

目 次

取扱い上のご注意	1
付属品の確認	5
ごあいさつ	6
1 章 ご使用の前に	9
1.1 製品の特徴	9
この製品でできること	9
使用可能なメモリーカードについて	10
使用可能なディスクについて	10
対応パソコンについて	11
対応 OS について	11
添付ソフトウェアについて	11
1.2 各部の名称と機能	12
2 章 製品の使い方	16
2.1 単体でバックアップ装置として使う (スタンドアロンモード)	16
ケーブルの接続とメディアのセット	16
メモリーカードの内容をディスクにコピーする	19
ディスクをフォーマット (初期化) する	23
2.2 テレビにつないで使う (TV モード)	25
テレビに接続する	25
ツリー画面について	27
サムネイル画面について	29
写真画像を拡大表示する	31
スライドショー (自動再生) を行う	32
写真画像を回転表示する	34
写真画像の保護機能を使う	36
写真画像の色相を設定する	39
写真画像をコピーする	40
写真画像を消去する	44
ディスクをフォーマット (初期化) する	48
2.3 パソコンにつないで使う (PC モード)	51
Windows の場合 (98/2000/Me 共通)	51
Macintosh の場合	60
ハードウェア仕様	64



取扱い上のご注意

本製品を正しく安全に使用するために

- ・本書では製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。
- ・本書は読み終わった後も、必ずいつでも見られる場所に保管しておいてください。

表示について

- ・この「取扱い上のご注意」では以下のような表示（マークなど）を使用して、注意事項を説明しています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。



警告

この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性がある項目です。



注意

この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。



三角のマークは何かには注意しなければならないことを意味します。三角の中には注意する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは感電に注意しなければならないことを意味します。

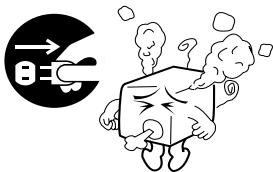


丸に斜線のマークは何かを禁止することを意味します。丸の中には禁止する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは分解を禁止することを意味します。



塗りつぶしの丸のマークは何かの行為を行わなければならないことを意味します。丸の中には行わなければならない行為が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは電源コードをコンセントから抜かななければならないことを意味します。

⚠ 警告



万一、異常が発生したとき。

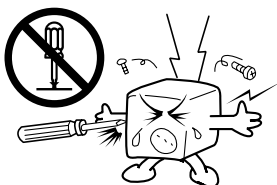
本体から異臭や煙が出た時は、ただちにACアダプタをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。



異物を入れないでください。

本体内部に金属類を差し込まないでください。また、水などの液体が入らないように注意してください。故障、感電、火災の原因となります。

万一異物が入った場合は、ただちに電源を切り販売店にご相談ください。



分解しないでください。

ケースは絶対に分解しないでください。感電の危険があります。分解の必要が生じた場合は販売店にご相談ください。



正しい電源で使用してください。

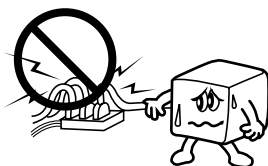
ACアダプタは必ず本製品付属のものを使用し、AC100Vのコンセントに接続してください。



ACアダプタのコードを大切に。

ACアダプタのコードは破損しないように十分ご注意ください。コード部分を持って抜き差ししたり、コードの上にものを乗せると、被服が破れて感電/火災の原因となります。

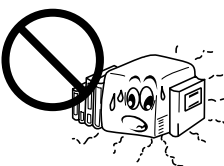
⚠ 注意



ACアダプタはなるべくコンセントに直接接続してください。タコ足配線や何本も延長したテーブルタップの使用は火災の原因となります。



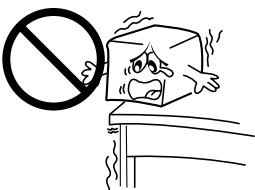
ACアダプタのコードは必ず伸ばした状態で使用してください。束ねた状態で使用すると、過熱による火災の原因となります。



通風孔はふさがらないでください。過熱による火災、故障の原因となります。

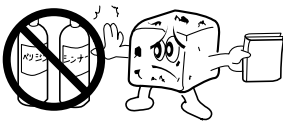


高温・多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。



本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用 / 保管は避けてください。

⚠ 注意



本体が汚れた場合は必ず電源を切ってから、柔らかい布に水または中性洗剤を含ませ軽くふいてください。（本体内に垂れ落ちるほど含ませないように気をつけてください。）揮発性の薬品（ベンジン・シンナーなど）を用いますと、変形・変色の原因になる事があります。



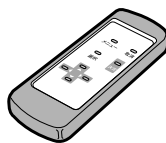
本製品を長期間使用しない場合は、ACアダプタをコンセントから抜いておいてください。

付属品の確認



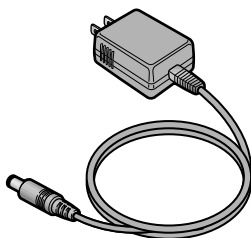
LDP-FD32 本体

1台



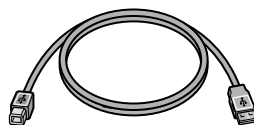
リモコン

1個



電源ケーブル(ACアダプタ)

1本



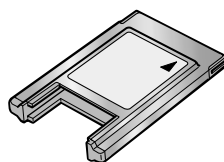
USBケーブル

1本



ビデオケーブル

1本



Compact Flash 用
PC アダプタ

1枚

単三乾電池

2本

保証書 / ユーザー登録カード

1枚

LDP-FD32 ユーザーズマニュアル(本書)

1冊



ごあいさつ

この度は弊社製品をお買い上げいただきまして、誠に有り難うございました。本書は製品に関する設定 / 接続方法、機能 / 仕様等についてのご説明をいたしますので、ご使用前に必ずご一読いただきますようお願いいたします。

弊社製品によって、お客様のデジタルカメラ環境がより便利なものとなりますよう心からお祈りいたします。

ご注意

本書の一部または全部を弊社に無断で転載することは禁止されております。

本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審の点がございましたら、弊社テクニカルサポートまでご連絡くださいますようお願いいたします。

本製品および本書を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、 項に関わらず弊社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本書に記載されている機種名、ソフトウェアのバージョンなどは、本書を作成した時点で確認されている情報です。本書作成後の最新情報については、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

本製品の仕様、デザイン及びマニュアルの内容については、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。

本製品を使用して保存したデータが、ハードウェアの故障、誤動作、その他どのような理由によって破壊された場合でも、弊社での保証はいたしかねます。万一に備えて、重要なデータはあらかじめバックアップするようにお願いいたします。

弊社は、本製品の仕様がお客様の特定の目的に適合することを保証するものではありません。

本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

本製品は日本国内仕様ですので、本製品を日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、弊社では海外での（海外に対してを含む）サービスおよび技術サポートを行っておりません。

1

ご使用の前に

1.1 製品の特徴

「LDP-FD32」は、デジタルカメラで撮影した写真画像を保存、蓄積する用途に最適なデジタルフォトストッカーです。「LDP-FD32」には、メモリーカード用のドライブと、スーパーディスク用のドライブの、2種類のドライブが搭載されています。

デジタルカメラなどのメディアとして広く普及している SmartMedia、CompactFlashカード、メモリースティックなどに対応していますので、撮影に使うデジタルカメラの種類を選びません。

この製品でできること

単体で、写真画像のバックアップ装置として使えます (スタンドアロンモード)

撮影した写真画像を、メモリーカードからディスクにワンタッチでコピーできます。メディアをセットしてボタンを押すだけの簡単操作です。デジタルカメラで撮影した画像はデジタルデータですので、コピーしても画質は劣化しません。

テレビに接続して使えます(TVモード)

テレビに接続することで、スタンドアロンモードでできることに加え、撮影した写真画像をテレビ画面で楽しんだり、テレビ画面上で写真画像を整理することができます。

パソコンに接続して使えます(PCモード)

パソコンに接続することで、外付けのカードリーダー/ライター、ならびにスーパーディスクドライブとしてご利用いただけます。ディスクのフォーマットなどの操作も、ほかのドライブ(フロッピーディスクドライブやCD-ROMドライブなど)と同様の方法で行うことができます。

使用可能なメモリーカードについて

本製品では、以下のメモリーカードを使用することができます。

Compact Flash および FLASH-ATA 以外のメモリーカードでは、専用 PC カードアダプタが別途必要です。

各メディアメーカーなどから発売されている市販品をご用意ください。

- (1) Compact Flash
- (2) SmartMedia (ID 付き含む)

容 量	電源仕様
2MB、4MB	3.3V または 5V
8MB、16MB、32MB、64MB、128MB	3.3V

- (3) メモリースティック
- (4) IBM microdrive
- (5) SD メモリーカード
- (6) マルチメディアカード
- (7) FLASH-ATA

使用可能なディスクについて

本製品では、以下のディスクを使用することができます。

スタンドアロンモード

ディスクの種類	フォーマット形式
スーパーディスク	120MB(DOS フォーマット)
	240MB(DOS フォーマット)
2HD フロッピーディスク	スーパーディスク独自フォーマット(32MB) ^{*1}

TV モード

ディスクの種類	フォーマット形式
スーパーディスク	120MB(DOS フォーマット)
	240MB(DOS フォーマット)
2HD フロッピーディスク	スーパーディスク独自フォーマット(32MB) ^{*1}
	1.44MB(DOS フォーマット)

PC モード

ディスクの種類	フォーマット形式
スーパーディスク	120MB(DOS/Macintosh フォーマット)
	240MB(DOS/Macintosh フォーマット)
2HD フロッピーディスク	スーパーディスク独自フォーマット(32MB) ^{*2}
	1.44MB(DOS/Macintosh フォーマット)
	1.25MB(DOS フォーマット)
2DD フロッピーディスク	720KB(DOS フォーマット)

^{*1} スタンドアロンモードまたはTVモードでは、2HD（スーパーディスク独自フォーマット）はワンタイム書き込みとなります（追記書き込み禁止）。

^{*2} PCモードでの2HD（スーパーディスク独自フォーマット）への書き込みには、付属のFD32MBライターソフト「SuperWriter32」(Windows/Mac)が必要です。

対応パソコンについて

本製品は以下のパソコン本体に接続して使用することができます。すべてUSBポートを搭載した機種に限定されます。

各社	DOS/V パソコン
日本電気株式会社	PC98-NX シリーズ
アップルコンピュータ社	iBook シリーズ、iMac シリーズ
	Power Mac G4 シリーズ
	Power Mac G4 Cube シリーズ
	Power Macintosh G3(Blue and White)シリーズ
	PowerBook(FireWire)シリーズ
	PowerBook G3(Bronze Keyboard)シリーズ PowerBook G4 シリーズ

対応OSについて

本製品は以下のOSで使用することができます。すべて日本語OSのみに限定されます。また、パソコン本体が対応していないOSでは使用することができません。

マイクロソフト株式会社	Windows Me
	Windows 98
	Windows 2000 Professional
アップルコンピュータ社	Mac OS 8.6 ~ 9.1

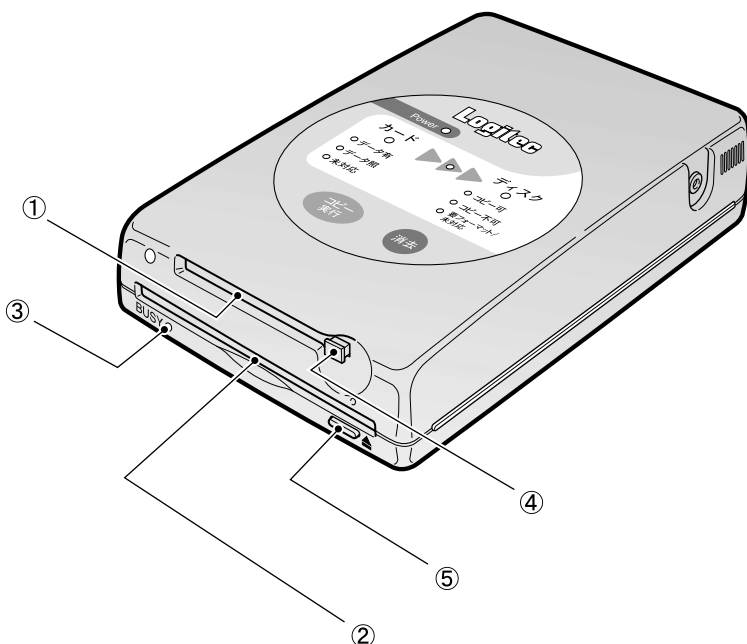
添付ソフトウェアについて

本製品には、以下のソフトウェアが付属しています。

- 瞬感！画像管理ソフト「フォトエクスプローラ」(Windows/Mac)
- FD32MBライターソフト「SuperWriter32」(Windows/Mac)

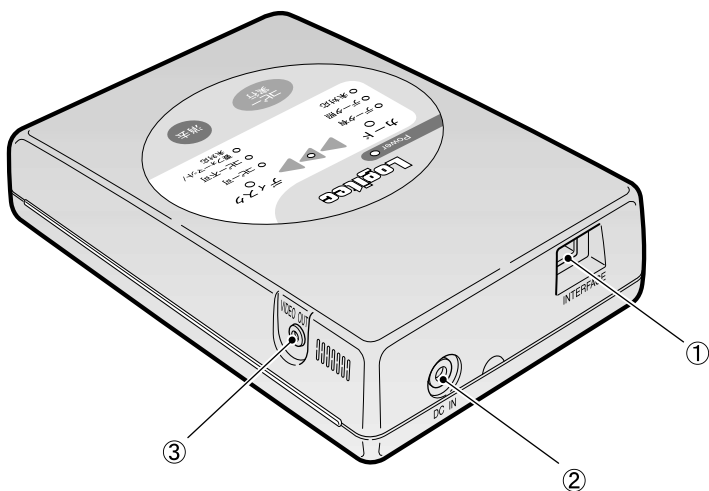
1.2 各部の名称と機能

本製品前面



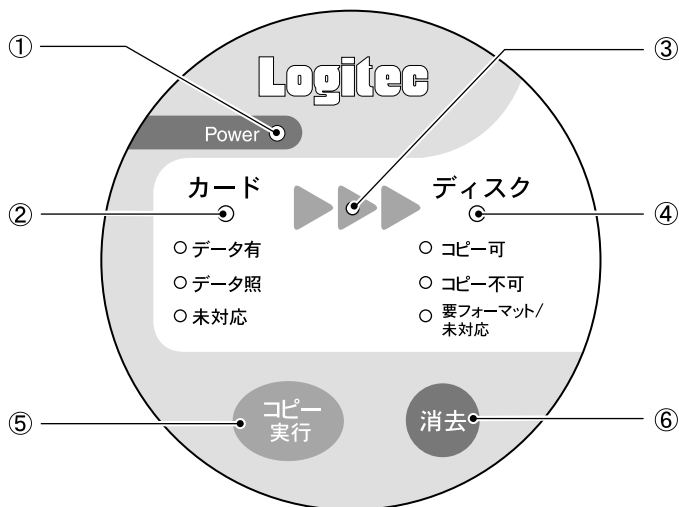
No.	名称	機能
	メディア挿入口 (MC)	SmartMediaやCompactFlashなどのメモリーカードを装着したPCアダプタをセットする部分です。
	メディア挿入口 (SD)	スーパーディスクなどのディスクをセットする部分です。
	アクセスランプ	ディスクへの読み書きが行われると点滅します。
	イジェクトボタン (MC)	本製品にセットしたメモリーカードを取り出したいときに使用します。
	イジェクトボタン (SD)	本製品にセットしたディスクを取り出したいときに使用します。

本製品背面



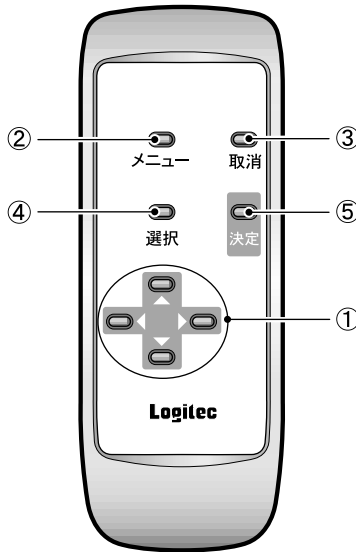
No.	名称	機能
	USB コネクタ	付属の USB ケーブルでパソコン本体の USB ポートと接続します。
	DC 電源コネクタ	付属の電源ケーブルで電源コンセントと接続します。
	ビデオ出力コネクタ	付属のビデオケーブルでテレビのビデオ入力端子と接続します。

操作パネル



No.	名称	機能
	電源 LED	電源が入ると点灯します。 スタンドアロンモード : 緑点灯 TV モード : 赤点灯 PC モード : 橙点灯
	カード LED	メモリーカードドライブの動作状態などを、赤 / 橙 / 緑色の点灯または点滅で示します。
	動作 LED	本製品の動作状態を、赤 / 橙 / 緑色の点灯または点滅で示します。
	ディスク LED	ディスクドライブの動作状態やディスクの空き容量などを、赤 / 橙 / 緑色の点灯または点滅で示します。
	[コピー実行] ボタン	メモリーカードからディスクへのコピーを実行するときに使用します。
	[消去] ボタン	ディスクの内容を消去するとき、またはディスクをフォーマットするときに使用します。

リモコン(TVモードのときに使います)



No.	名称	機能
	[◀]、[▶]、[]、[]ボタン	TV画面で、カーソルを上下左右に移動するときに押します。
	[メニュー]ボタン	現在選択している項目で利用できるメニューを表示します。
	[取消]ボタン	1つ前の画面に戻りたいとき、または1つ上のフォルダに戻りたいときに押します。
	[選択]ボタン	カーソルのあるフォルダまたはファイルを選択します。
	[決定]ボタン	カーソルのあるフォルダを開きます。または、選択されているメニューオプションを決定します。

2 製品の使い方

2.1 単体でバックアップ装置として使う (スタンドアロンモード)

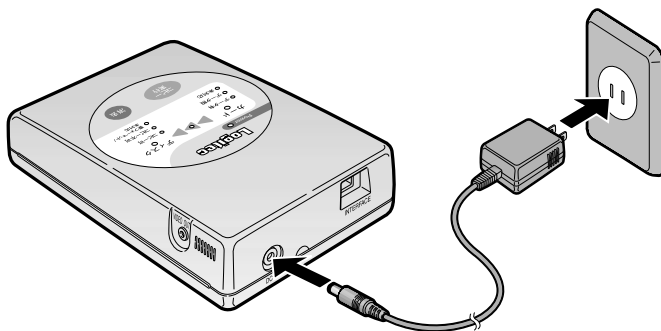
デジタルカメラで撮影した写真画像をディスクに保存したいときは、この製品だけで行えます。パソコンやテレビに接続する必要はありません。コピー先のディスクをフォーマット(初期化)したいときも、この製品だけで行えます。



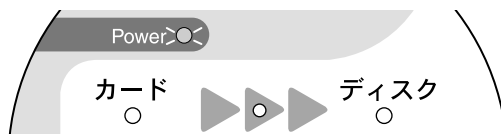
メモリーカードからディスクへのコピーのみ可能です。ディスクからカードへのコピーはできません。

ケーブルの接続とメディアのセット

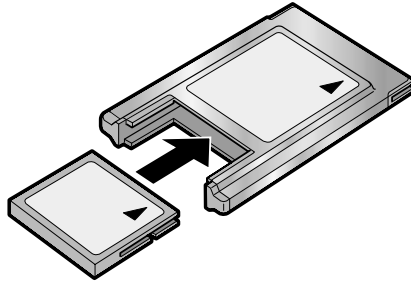
1. 付属の電源ケーブル (AC アダプタ) を接続します。



電源 LED が緑色に点灯します。



2. メモリーカードを適切な PC アダプタに装着します。



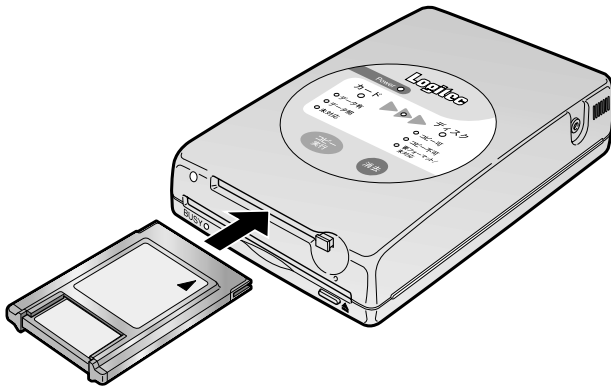
2



参照

使用できるメモリーカードについては、「使用可能なメモリーカード」(P.10)を参照してください。

3. メモリーカードを装着した PC アダプタを、本製品のメディア挿入口(MC)にしっかりと押し込みます。



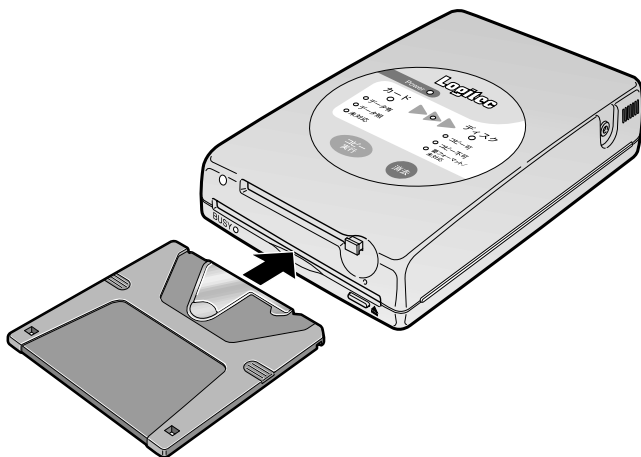
正しくセットされると、カード LED が緑色に点灯します。



補足

LED の表示が異なる場合は、表 2-1 (P.22) を参照して、必要な処置を行ってください。

4. コピー先のディスクをメディア挿入口(SD)にセットします。カチッと音がするまで押し込んでください。



参照

使用できるディスクについては、「使用可能なディスク」(P.10)を参照してください。

ディスクが正しくセットされると、自動的にディスクの種類と空き容量のチェックが始まります。チェックの間は、ディスクLEDが赤色に点灯します。チェックの結果、メモリーカードの内容をコピーできるだけの十分な空き容量がディスクにあることが判定されると、ディスクLEDが緑色に点灯します。



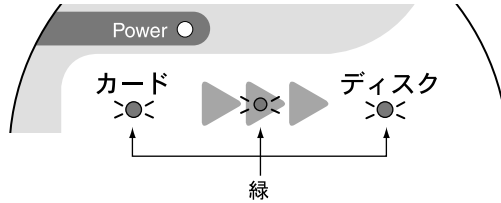
補足

LEDの表示が異なる場合は、表2-1(P.22)を参照して、必要な処置を行ってください。

5. 本製品のLEDが下図の状態になれば、コピー可能です。「メモリーカードの内容をディスクにコピーする」の順に進んでください。



LEDの表示が異なる場合は、表2-11(P.22)を参照して、必要な処置を行ってください。



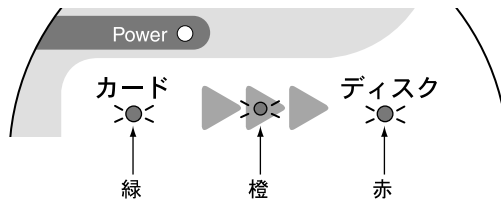
2

メモリーカードの内容をディスクにコピーする

1. 上記の手順が終了していることを確認します。
2. [コピー実行]ボタンを押します。



3. コピーが始まります。コピー中は、カードLED、動作LED、ディスクLEDの順に、緑色に点灯/消灯を繰り返します。
4. 本製品のLEDが下図の状態になれば、コピー終了です。

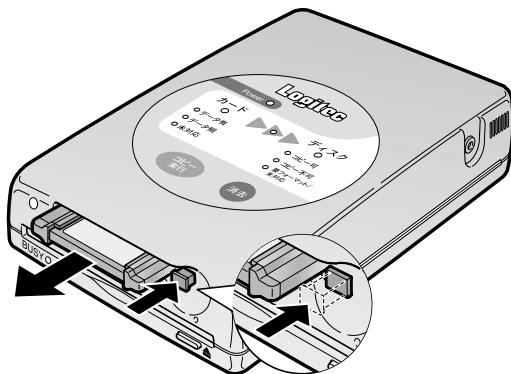


5. メディアを取り出します。

メモリーカード(PCアダプタ)の取り出し方

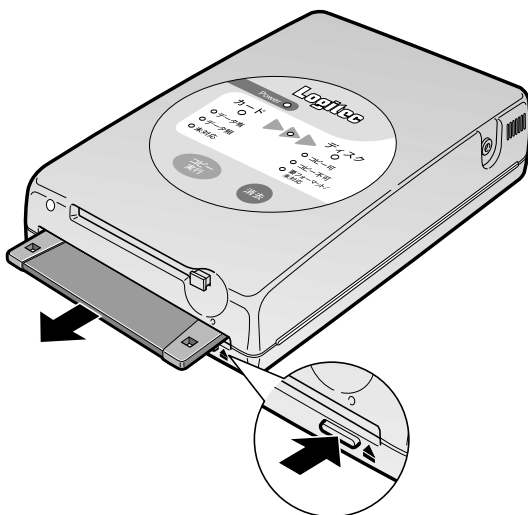
カードLEDが点滅していないことを確認してから、イジェクトボタン(MC)を押し込みます。

イジェクトボタン(MC)が1センチほど飛び出しますので、もう一度押し込みます。PCアダプタが飛び出しますので、取り出します。

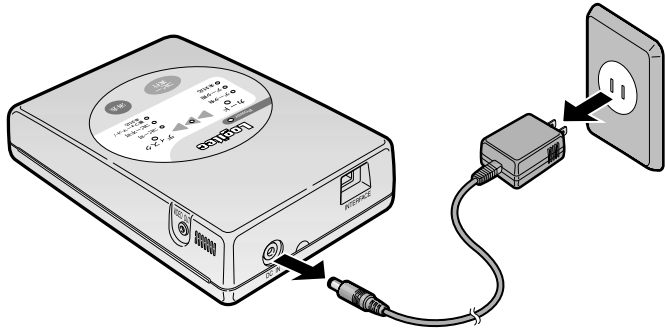


ディスクの取り出し方

アクセスランプが点灯していないことを確認してから、イジェクトボタン(SD)を軽く押し込みます。ディスクが飛び出しますので、取り出します。




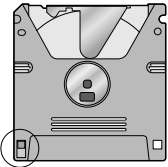

6. 電源ケーブルを外します。



2

バックアップしたいメモリーカードが他にもある場合は、手順1～6を繰り返します。

表 2-1.LED の状態

LED	表示	説明	対処
カード LED	赤点灯	メモリーカードにデータがありません。	メモリーカードを交換してください。
	橙点灯	この製品が対応していないメモリーカードです。	メモリーカードを交換してください。
ディスク LED	赤点滅	メモリーカードが挿入されていないため、メモリーカードとの容量比較できません。	メモリーカードを挿入してください。
	赤点灯のまま	ディスクに十分な空き容量がありません。	ディスクを交換してください。またはディスクをフォーマットしてください。  「ディスクをフォーマット(初期化)する」(P.23)
		ディスクが書き込み禁止になっている可能性があります。	いったんディスクを取り出し、書き込み禁止用の窓を閉じてから、セットし直してください。 
橙点灯	フォーマットが必要なディスクです。または、この製品が対応していないディスクです。	ディスクを交換してください。または、いったんメモリーカードを取り出して、ディスクをフォーマットしてください。  「ディスクをフォーマット(初期化)する」(P.23)	
動作 LED	赤点灯	コピーが失敗しました。	メモリーカードまたはディスク、あるいはその両方を交換してください。
		フォーマットが失敗しました。	



Point

ディスクをフォーマットした場合は、ディスクに入っていた画像ファイルはすべて失われます。

ディスクをフォーマット(初期化)する

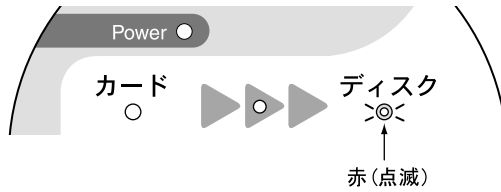
ディスク(スーパーディスク、フロッピーディスク)をフォーマットすることで、ディスクの内容を完全に消去して、ディスクを購入したときの状態に戻すことができます。



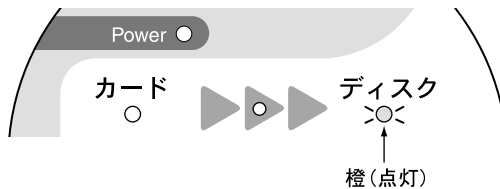
メモリーカードはフォーマットできません。メモリーカードをフォーマットしたい場合は、メモリーカードをデジタルカメラにセットして、デジタルカメラのフォーマット機能で行ってください。

2

1. ディスクをメディア挿入口(SD)にセットします。カチッと音がするまで押し込んでください。
ディスクにデータがある場合は、ディスクLEDが赤色に点滅します(FD-32の場合は赤色に点灯します)。



フォーマットが必要なディスク、または、この製品が対応していないディスクの場合は、ディスクLEDが橙色に点灯します。

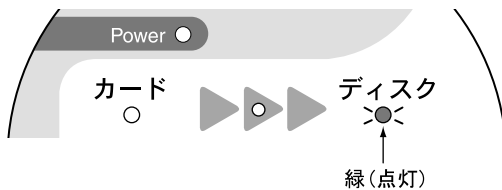


メモリーカードがセットされている場合は、取り出してください。



使用できるディスクについては、「使用可能なディスク」(P.10)を参照してください。

2. [消去]ボタンを3秒以上押します。
赤色(または橙色)のディスクLEDが高速に点滅し始めます。通常の点滅速度に変わるまで押し続けてください。
3. ディスクLEDが緑色に点灯すれば、フォーマット完了です。

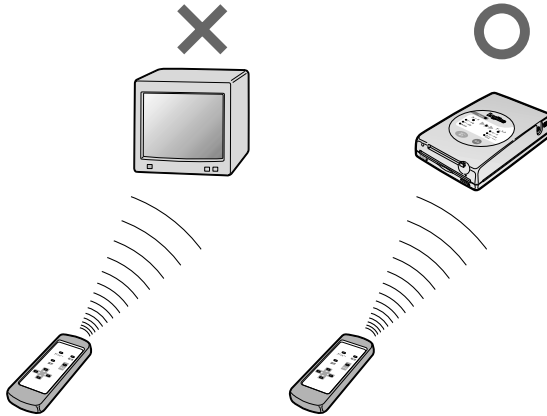


2.2 テレビにつないで使う(TVモード)

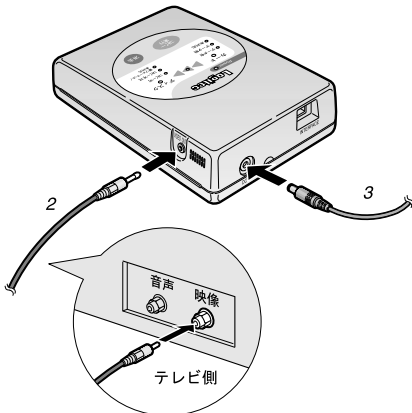
本製品をテレビにつなぐことで、パソコンがなくても、デジタルカメラで撮影した写真画像をテレビ画面で確認したり、テレビ画面上で写真画像を整理することができます。



TVモードでは、付属のリモコンを使って操作します。リモコンはテレビではなく、本製品に向けて操作します。



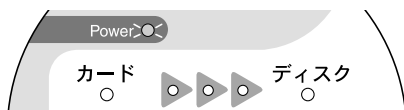
テレビに接続する



1. テレビの電源を入れ、ビデオチャンネルに合わせます。
2. 付属のビデオケーブルで本製品とテレビを接続します。
3. 電源ケーブルを接続します。



「ケーブルの接続とメディアのセット」(P.16)



電源 LED が赤色に点灯します。

2

カードを挿入して下さい
ディスクを挿入して下さい

3. テレビ画面に左の画面が表示されますので、メモリーカードまたはディスクをセットしてください。ツリー画面が表示されます。

▶カード ディスク



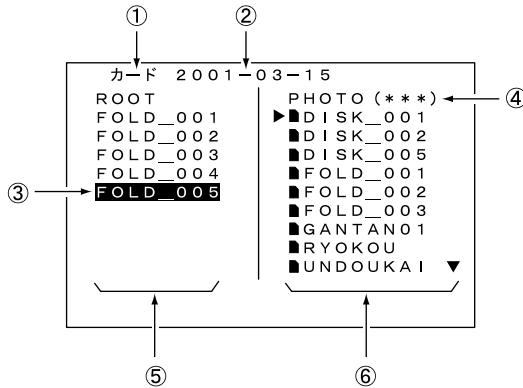
メモリーカードとディスクの両方をセットした状態で電源を入れた場合は、左の画面が表示されます。リモコンの[◀]、[▶]ボタンでどちらかを選択し、[決定]ボタンを押します。ツリー画面が表示されます。

ツリー画面について

メモリーカードに記録されている画像ファイルは、「フォルダ」と呼ばれる入れ物のなかに入っています。



実際にテレビ画面に表示される内容は、お使いのカメラの設定などによって異なります。



選択されているメディアの種類です。

「カード」：メモリーカード

「240MB」：240MB スーパーディスク

「120MB」：120MB スーパーディスク

「FD32」：FD-32MB ディスク

「2HD」：2HD ディスク

現在カーソルが置かれている画像ファイルの撮影日(カメラの日付)です。

現在操作中のフォルダ名は反転表示されます。

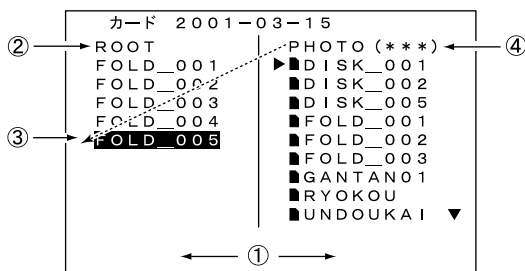
現在操作中の階層に画像ファイルが記録されている場合は、最上部に「PHOTO」と表示され、横に記録枚数が示されます。

フォルダ表示部

ファイル表示部

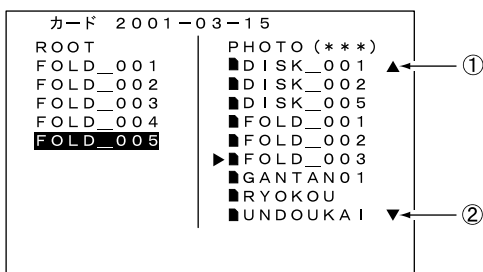
基本操作

リモコンの使い方については、「1.2 各部の名称と機能」の「リモコン」を参照してください。



[◀]、[▶]ボタンでフォルダ表示部とファイル表示部を切り替えます。ROOT フォルダで[取消]ボタンを押すと、起動画面に戻ります。

ファイル表示画面からフォルダ表示画面に移動した場合は、まずそのファイルが存在するフォルダ名の先頭にカーソルが移動します。カーソルを「PHOTO(***)」に合わせて[決定]ボタンを押すと、サムネイル画面が表示されます。

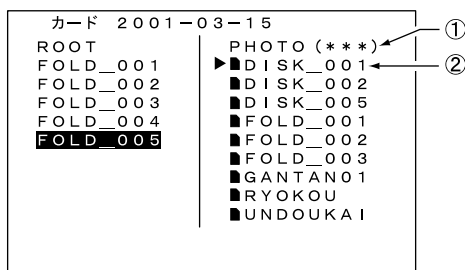


右上に マークが表示されている場合は、上にフォルダがあります。フォルダ表示部の最上段で[]ボタンを押すと、上のページに移動します。

右下に マークが表示されている場合は、下にフォルダがあります。フォルダ表示部の最下段で[]ボタンを押すと、下のページに移動します。

ファイルまたはフォルダの選択

画像ファイルの「自動再生」、「コピー」、「消去」、「保護」を行う場合には、操作の対象となる画像をあらかじめ選択しておくことができます。



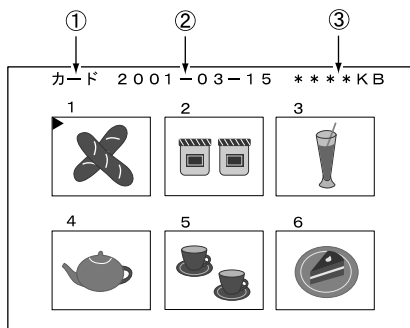
カーソルを「PHOTO(***)」に合わせて[選択]ボタンを押すと、その階層の全画像ファイルが選択されて、点滅表示に変わります。

カーソルをフォルダに合わせて[選択]ボタンを押すと、そのフォルダが選択されて、点滅表示に変わります。

もう1度[選択]ボタンを押すと、選択が解除されます。

サムネイル画面について

ツリー画面で、カーソルを「PHOTO(***)」に合わせて[決定]ボタンを押すと、サムネイル画面が表示されます。サムネイルは、1画面に6枚ずつ表示されます。



選択されているメディアの種類です。

現在カーソルが置かれている画像ファイルの撮影日(カメラの日付)です。

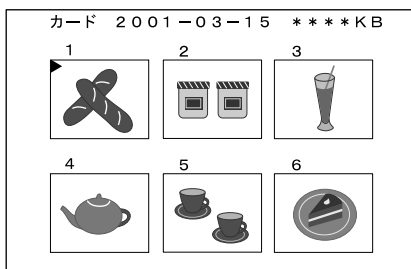
現在カーソルが置かれている画像ファイルのファイルサイズです。



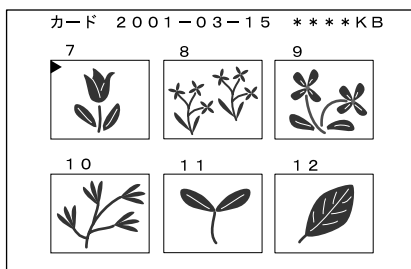
表示される画像ファイルは「JPG」または「TIF」の拡張子が付いているファイルだけです。

画像ファイル内にサムネイル情報が入っているものが優先的に表示され、サムネイルが無いファイルについては、元画像データよりサムネイルが生成されます。ただしTIFFファイルについては、サムネイルは生成されず、「TIFF」と表示されます。

基本操作



- ・ [◀]、[▶]、[]、[] ボタンで、カーソルを上下左右に移動できます。
- ・ 右端のサムネイルにカーソルがあるときに [▶] ボタンを押すと、次の行の先頭のサムネイルにカーソルが移動します。
- ・ サムネイル画面が表示されている状態で [取消] ボタンを押すと、ツリー画面に戻ります。
- ・ 下段のサムネイルのいずれかにカーソルがあるときに [] ボタンを押すと、2 ページめの画面に進みます。



- ・ 2 ページめから 1 ページめに戻るときは、上段のいずれかのサムネイルで [] ボタンを押すか、7 番めのサムネイルで [◀] ボタンを押します。

サムネイル画像の選択

画像ファイルの「自動再生」、「コピー」、「消去」、「保護」を行う場合には、操作の対象となる画像をあらかじめ選択しておくことができます。

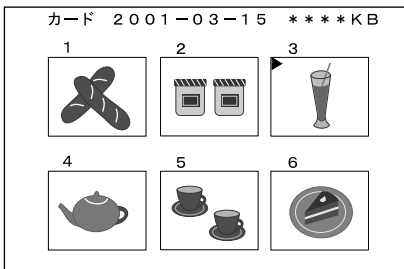
1. [◀]、[▶]、[]、[]ボタンで、目的のサムネイル画像にカーソルを合わせます。
2. [選択]ボタンを押すと、その画像が選択されます。選択された画像は、番号が点滅表示に変わります。
3. 手順1～2を繰り返して、目的の画像をすべて選択します。



- ・ 選択した画像の選択を解除したい場合は、もう一度その画像にカーソルを合わせ、[選択]ボタンを押します。
- ・ 一度に選択できるのは、同じフォルダ内にある画像だけです。

写真画像を拡大表示する

写真画像をTV画面いっぱいに、拡大表示することができます。



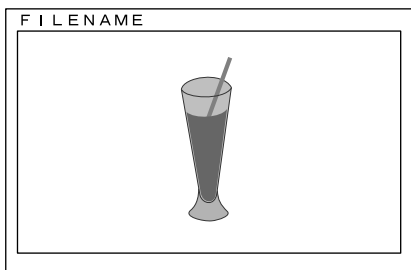
1. サムネイル画面で、[◀]、[▶]、[]、[]ボタンで、拡大表示したいサムネイル画像にカーソルを合わせます。

2. [決定]ボタンを押します。

3. 「処理中！」というメッセージが点滅表示されます。



「処理中！」が点滅表示されているときに[取消]ボタンを押すと、画像展開が中止されて、サムネイル画面に戻ります。



4. 画像展開が終了すると、TV画面いっぱいに画像が表示されます。画面左上に、画像ファイルのファイル名が表示されます。
5. [◀]、[▶]ボタンを押すと、前の画像、または次の画像が表示されます。



画像がない場合は「NO FILE DATA」と表示されます。

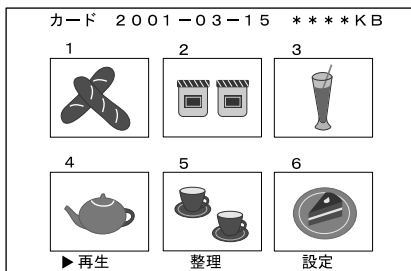
6. [取消]ボタンを押すと、サムネイル画面に戻ります。

スライドショー(自動再生)を行う

画像をTV画面いっぱいに拡大し、一定の時間間隔で自動的に再生して楽しむことができます。



一度に自動再生できるのは、同じフォルダ内にある画像だけです。

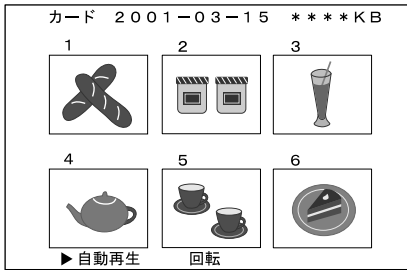


1. スライドショーに使いたい画像を選びたい場合は、サムネイル画面で選択します。

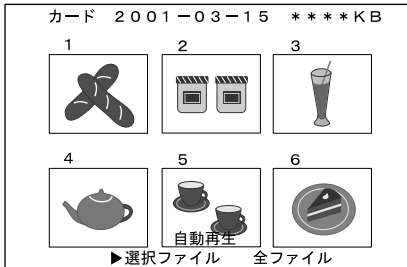


「サムネイル画像の選択」
(P.31)

2. サムネイル画面で、[メニュー]ボタンを押します。左の画面が表示されます。
3. [◀]、[▶]ボタンで「再生」を選択し、[決定]ボタンを押します。



4. 左の画面が表示されます。[◀]、[▶]ボタンで「自動再生」を選択し、[決定]ボタンを押します。



5. 左の画面が表示されます。「選択ファイル」または「全ファイル」を選択し、[決定]ボタンを押します。

「全ファイル」を選択した場合

フォルダ内の画像がすべて、一定の時間間隔で順番に再生されます。最後の画像が再生されると、1番めのファイルに戻って、繰り返し再生されます。

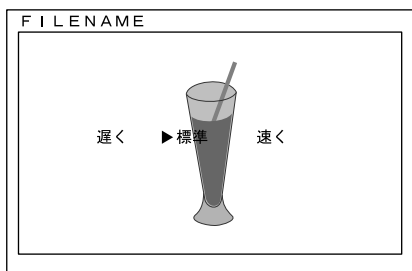
「選択ファイル」を選択した場合

選択した画像ファイルだけが順番に、繰り返し再生されます。ファイルが選択されていなかった場合は、「ファイルを選択して下さい」というメッセージが点滅表示され、サムネイル画面に戻ります。画像を選択してから、手順をはじめから行ってください。



「サムネイル画像の選択」
(P.31)

画像の表示時間を調整するには



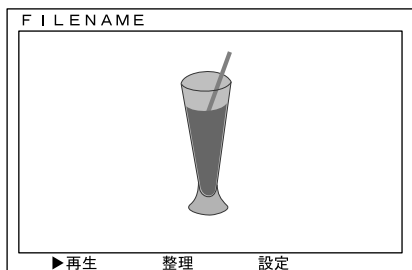
1. 自動再生中に[メニュー]ボタンを押します。左の画面が表示されます。
2. [◀]、[▶]ボタンで、各画像の表示時間を選択します。
遅く:8秒 標準:5秒 早く:3秒
3. [決定]ボタンを押すと、自動再生が再開されます。

自動再生を終了するには

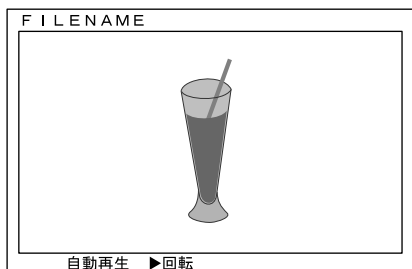
1. 自動再生中に[取消]ボタンを押します。自動再生が終了し、サムネイル画面に戻ります。

写真画像を回転表示する

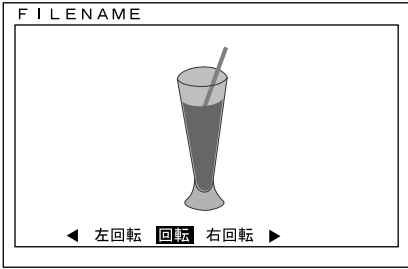
拡大表示している画像を、左右に90度回転させることができます。



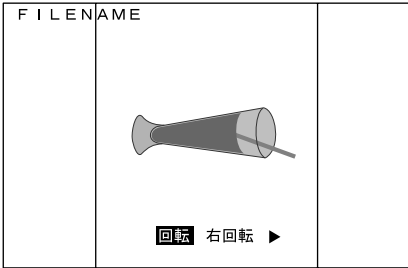
1. 拡大表示画面で、[メニュー]ボタンを押します。左の画面が表示されます。
2. [◀]、[▶]ボタンで「再生」を選択し、[決定]ボタンを押します。



3. 左の画面が表示されます。[◀]、[▶]ボタンで「回転」を選択し、[決定]ボタンを押します。



4. 左の画面が表示されます。[◀]ボタンを押すと、画像が左に90度回転します。[▶]ボタンを押すと、画像が右に90度回転します。



5. 回転が処理される間、「処理中!」というメッセージが点滅表示されます。処理が終了すると、回転した画像がTV画面に表示されます。[取消]ボタンを2回押すと、サムネイル画面に戻ります。



補足

回転角度は、元画像に対して左右とも90度のみです。画像を回転表示しても、元の画像には影響ありません。

写真画像の保護機能を使う

カードまたはディスク内の画像が誤って消去されるのを防ぐための機能です。保護した画像、または保護した画像が含まれているフォルダを削除しようとする、確認のメッセージが表示されます。



保護機能が適用されている画像も、ディスクのフォーマット(初期化)を行った場合は保護されません(確認メッセージは表示されずに、すべての画像が失われます)。



一度に保護できるのは、同じフォルダ内にある画像だけです。

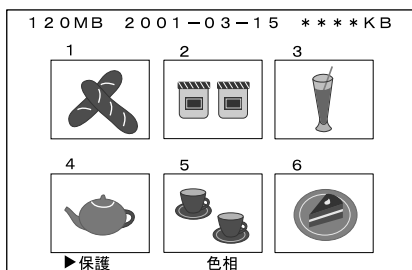


1. 保護したい画像を選びたい場合は、サムネイル画面で選択します。



「サムネイル画像の選択」
(P.31)

2. サムネイル画面で、[メニュー]ボタンを押します。左の画面が表示されます。
3. [◀]、[▶]ボタンで「設定」を選択し、[決定]ボタンを押します。
4. 左の画面が表示されます。[◀]、[▶]ボタンで「保護」を選択し、[決定]ボタンを押します。





5. 左の画面が表示されます。「選択ファイル」または「全ファイル」を選択し、[決定]ボタンを押します。

「全ファイル」を選択した場合

フォルダ内の画像ファイルがすべて保護されます。

「選択ファイル」を選択した場合

選択した画像ファイルだけが保護されます。ファイルが選択されていなかった場合は、「ファイルを選択して下さい」というメッセージが点滅表示され、サムネイル画面に戻ります。画像を選択してから、手順をはじめから行ってください。



「サムネイル画像の選択」
(P.31)



6. 左の画面が表示されます。[◀]、[▶]ボタンで「保護」を選択し、[決定]ボタンを押します。保護された画像には、鍵のマークが付きます。

保護してあった画像の保護を解除するには

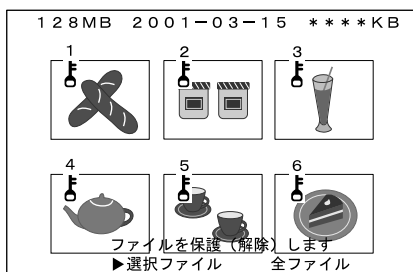


1. 保護を解除したい画像を選びたい場合は、サムネイル画面で選択します。



「サムネイル画像の選択」
(P.31)

2. サムネイル画面で、[メニュー]ボタンを押します。左の画面が表示されます。
3. [◀]、[▶]ボタンで「設定」を選択し、[決定]ボタンを押します。
4. 左の画面が表示されます。[◀]、[▶]ボタンで「保護」を選択し、[決定]ボタンを押します。



5. 左の画面が表示されます。「選択ファイル」または「全ファイル」を選択し、[決定]ボタンを押します。
6. 左の画面が表示されます。[◀]、[▶]ボタンで「解除」を選択し、[決定]ボタンを押します。保護を解除すると、鍵のマークが消えます。

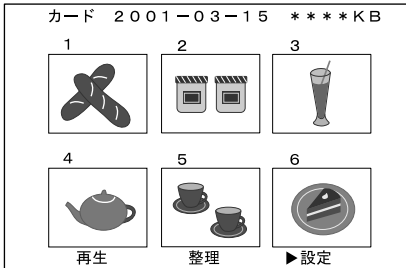


写真画像の色相を設定する

TV画面の明るさを調整することができます。色相を変更しても、元の画像には影響ありません。一度設定した色相は、この製品の電源を切るまで有効です。

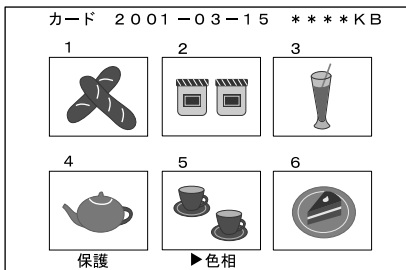


画像ごとに色相を変えることはできません。



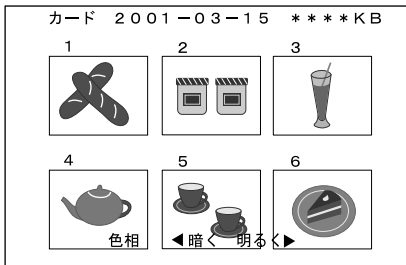
1. サムネイル画面で、[メニュー]ボタンを押します。左の画面が表示されます。

2. [◀]、[▶]ボタンで「設定」を選択し、[決定]ボタンを押します。



1. 左の画面が表示されます。

2. [◀]、[▶]ボタンで「色相」を選択し、[決定]ボタンを押します。



1. 左の画面が表示されます。

2. [◀]、[▶]ボタンを押すと、色相が変わります。好みの色相になったら、[取消]ボタンを押して決定します。

写真画像をコピーする

メモリーカード内の画像をディスクに、またはディスク内の画像をメモリーカードにコピーすることができます。

コピーの場合は、コピー先メディアに新たにフォルダが作成され、そのフォルダにコピーされますので、ファイルが上書きされることはありません。

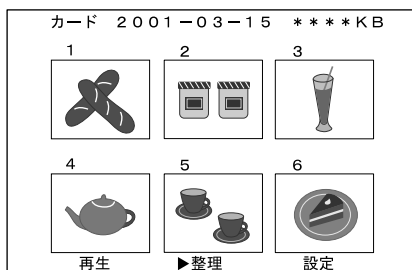


一度にコピーできるのは、同じフォルダ内の画像だけです。

2

サムネイル画面での操作

サムネイル画面を使えば、メモリーカード内の画像をディスクに、またはディスク内の画像をメモリーカードに、画像を確認しながらコピーできます。



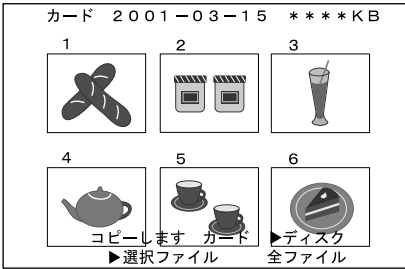
1. コピーしたい画像を選びたい場合は、サムネイル画面で選択します。



「サムネイル画像の選択」
(P.31)

2. サムネイル画面で、[メニュー]ボタンを押します。左の画面が表示されます。
3. [◀]、[▶]ボタンで「整理」を選択し、[決定]ボタンを押します。
4. 左の画面が表示されます。[◀]、[▶]ボタンで「コピー」を選択し、[決定]ボタンを押します。





5. 左の画面が表示されます。「選択ファイル」または「全ファイル」を選択します。[決定]ボタンを押すとコピーが開始されます。

「全ファイル」を選択した場合

フォルダ内のファイルがすべてコピーされます。

「選択ファイル」を選択した場合

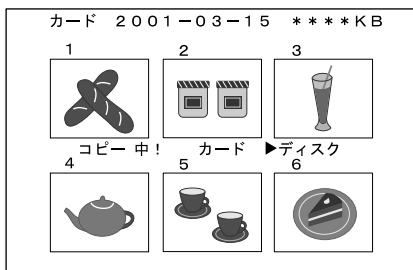
選択した画像ファイルだけがコピーされます。ファイルが選択されていない場合は、「ファイルを選択して下さい」というメッセージが点滅表示され、サムネイル画面に戻ります。画像を選択してから、手順をはじめから行ってください。



「サムネイル画像の選択」
(P.31)

コピー先のディスクまたはカードが挿入されていない場合

「ディスクを挿入して下さい」または「カードを挿入して下さい」というメッセージが表示されますので、コピー先のディスクまたはカードを挿入してください。ディスクまたはカードの状態がチェックされたあと、コピーが開始されます。



5. コピー中は、左のような画面が表示されて、コピー方向が示されます。コピーが終了すると、「コピーOK!」というメッセージが表示されます。

6. [取消] ボタンを押すと、サムネイル画面に戻ります。

ツリー画面での操作



1. コピーしたいフォルダを選びたい場合は、ツリー画面で選択します。

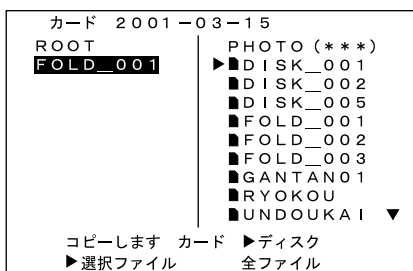


「ファイルまたはフォルダの選択」(P.29)

2. ツリー画面で、[メニュー] ボタンを押します。左の画面が表示されます。

3. [◀]、[▶] ボタンで「コピー」を選択し、[決定] ボタンを押します。

4. 左の画面が表示されます。「選択ファイル」または「全ファイル」を選択します。[決定] ボタンを押すとコピーが開始されます。



「全ファイル」を選択した場合

カードまたはディスク内の画像ファイルがすべてコピーされます。

「選択ファイル」を選択した場合

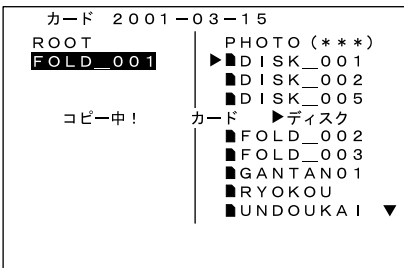
選択したフォルダ内の画像ファイルだけがコピーされます。フォルダーが選択されていない場合は、「ファイルを選択して下さい」というメッセージが点滅表示されてツリー画面に戻ります。目的のフォルダーを選択し、[決定]ボタンを押してから、手順をはじめから行ってください。



「ファイルまたはフォルダの選択」(P.29)

コピー先のディスクまたはカードが挿入されていない場合

「ディスクを挿入して下さい」または「カードを挿入してください」というメッセージが表示されます。コピー先のディスクまたはカードを挿入してください。ディスクまたはカードの状態がチェックされたあと、コピーが開始されます。



4. コピー中は、左のような画面が表示されて、コピー方向が示されます。コピーが終了すると、「コピーOK!」というメッセージが表示されます。
5. [取消]ボタンを押すと、ツリー画面に戻ります。

写真画像を消去する

カードまたはディスク内の画像を消去することができます。



一度に消去できるのは、同じフォルダ内の画像だけです。

サムネイル画面での操作

サムネイル画面を使えば、ディスクまたはカード内の画像を、内容を確認しながら消去できます。

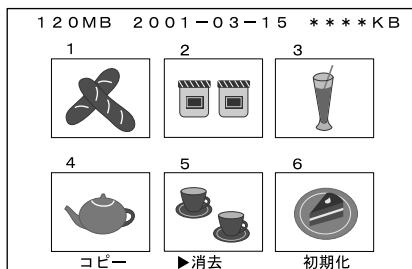


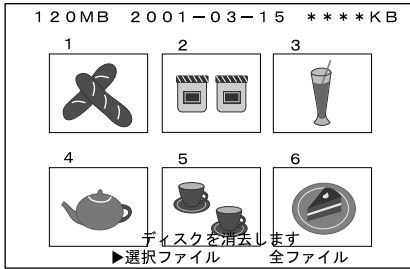
1. 消去したい画像を選びたい場合は、サムネイル画面で選択します。



「サムネイル画像の選択」
(P.31)

2. サムネイル画面で、[メニュー]ボタンを押します。左の画面が表示されます。
3. [◀]、[▶]ボタンで「整理」を選択し、[決定]ボタンを押します。
4. 左の画面が表示されます。[◀]、[▶]ボタンで「消去」を選択し、[決定]ボタンを押します。





5. 左の画面が表示されます。「選択ファイル」または「全ファイル」を選択し、[決定]ボタンを押します。

「全ファイル」を選択した場合

カードまたはディスク内の画像ファイルがすべて消去されます。

「選択ファイル」を選択した場合

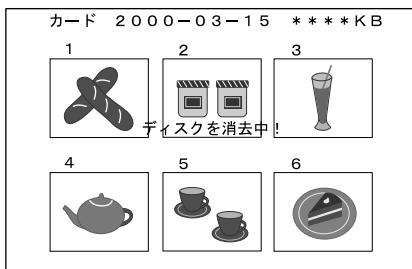
選択した画像ファイルだけが消去されます。ファイルが選択されていなかった場合は、「ファイルを選択して下さい」というメッセージが点滅表示され、サムネイル画面に戻ります。画像を選択してから、手順をはじめから行ってください。



サムネイル画像の選択
(P.31)

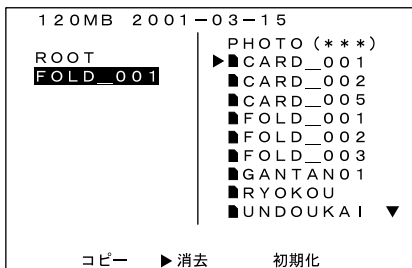


6. 左の画面が表示されます。消去する場合は、[実行]を選択して、[決定]ボタンを押します。消去操作を取り消す場合は、[取消]を選択して、[決定]ボタンを押します。

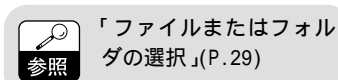


7. 消去中は、左のような画面が表示されます。消去が終了すると、「消去OK!」というメッセージが表示されます。
8. [取消] ボタンを押すと、サムネイル画面に戻ります。

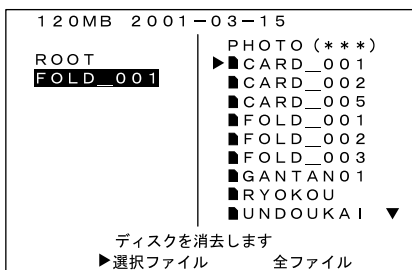
ツリー画面での操作



1. 消去したいフォルダを選びたい場合は、ツリー画面で選択します。



2. ツリー画面で、[メニュー] ボタンを押します。右の画面が表示されます。
3. [◀]、[▶] ボタンで「消去」を選択し、[決定] ボタンを押します。
4. 左の画面が表示されます。「選択ファイル」または「全ファイル」を選択し、[決定] ボタンを押します。



「全ファイル」を選択した場合

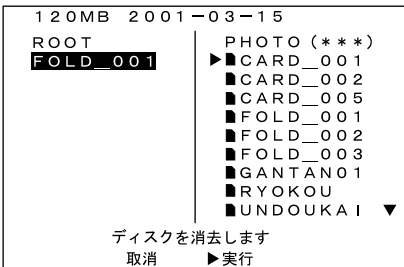
カードまたはディスク内の画像ファイルがすべて消去されます。

「選択ファイル」を選択した場合

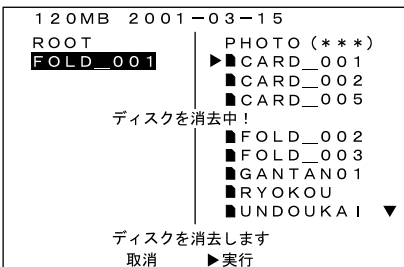
選択したフォルダ内の画像ファイルだけが消去されます。フォルダが選択されていなかった場合は、「ファイルを選択して下さい」というメッセージが点滅表示されてツリー画面に戻ります。目的のフォルダを選択してから、手順をはじめから行ってください。



「ファイルまたはフォルダの選択」(P.29)



5. 左の画面が表示されます。消去する場合は、[実行]を選択して、[決定]ボタンを押します。消去操作を取り消す場合は、[取消]を選択して、[決定]ボタンを押します。



6. 消去中は、右のような画面が表示されます。消去が終了すると、「消去OK!」というメッセージが表示されます。
7. [取消]ボタンを押すと、ツリー画面に戻ります。

ディスクをフォーマット(初期化)する

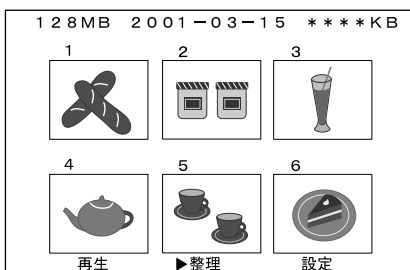
ディスク(スーパーディスク、フロッピーディスク)をフォーマットすることで、ディスクの内容を完全に消去して、ディスクを購入したときの状態に戻すことができます。



メモリーカードはフォーマットできません。メモリーカードをフォーマットしたい場合は、メモリーカードをデジタルカメラにセットして、デジタルカメラのフォーマット機能で行ってください。

2

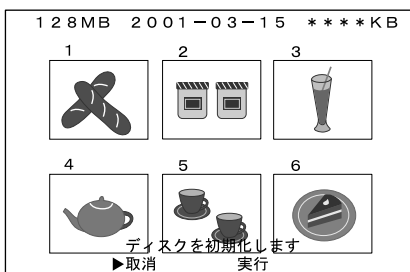
サムネイル画面での操作



1. ディスクをセットして、サムネイル画面を表示させます。
2. [メニュー] ボタンを押します。左の画面が表示されます。
3. [◀]、[▶]ボタンで「整理」を選択し、[決定]ボタンを押します。



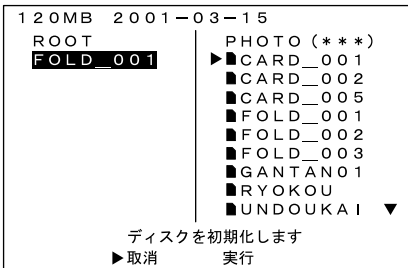
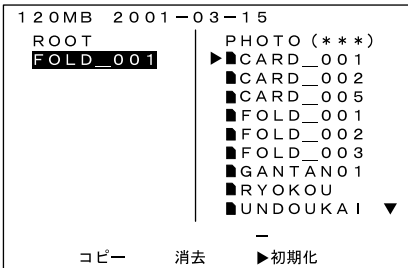
4. 左の画面が表示されます。[◀]、[▶]ボタンで「初期化」を選択し、[決定]ボタンを押します。



5. 左の画面が表示されます。初期化する場合は、[実行]を選択して、[決定]ボタンを押します。初期化操作を取り消す場合は、[取消]を選択して、[決定]ボタンを押します。



ツリー画面での操作



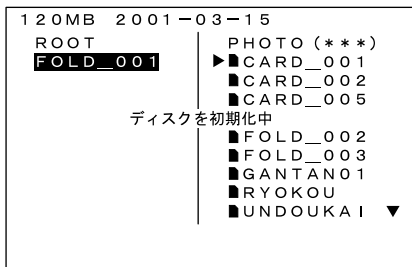
6. 初期化中は、左のような画面が表示されます。初期化が終了すると、「初期化OK!」というメッセージが表示されます。
7. [取消] ボタンを押すと、ツリー画面が表示されます。メモリーカードとディスクの両方がセットされている場合は、起動画面に戻ります。

1. ディスクをセットして、ツリー画面を表示させます。
2. [メニュー] ボタンを押します。左の画面が表示されます。
3. [◀]、[▶] ボタンで「初期化」を選択し、[決定] ボタンを押します。
5. 左の画面が表示されます。初期化する場合は、[実行] を選択して、[決定] ボタンを押します。初期化操作を取り消す場合は、[取消] を選択して、[決定] ボタンを押します。



補足

2HD のディスクがセットされている場合は、手順 5 で [決定] ボタンを押すと、初期化形式を確認する画面が表示されます。[2HD] または [FD32] を選択し、[決定] ボタンを押してから、もう一度手順 5 を繰り返してください。



6. 初期化中は、左のような画面が表示されます。初期化が終了すると、「初期化OK!」というメッセージが表示されます。
7. [取消] ボタンを押すと、ツリー画面に戻ります。

2.3 パソコンにつないで使う(PCモード)

本製品をパソコンに接続することで、外付けのディスクドライブとして使用できるようになります。デジタルカメラで撮影した写真画像をパソコンに取り込んだり、パソコンで編集・保存したりすることが可能です。

フロッピーディスクドライブやCD-ROMドライブと同様に、本製品のドライブアイコンをダブルクリックすることで、そのドライブにセットされているカードまたはディスクにアクセスできます。

Windows の場合 (98/2000/Me 共通)

ここでは、本製品を Windows 環境のパソコンに接続し、外付けのディスクドライブとして使用するときの手順を説明します。

ステップ1: パソコンにつなぐ

本製品をはじめてパソコンに接続する場合は、パソコンに接続する前に、まず付属のドライバソフトをインストールします。

ここでは、Windows がすでにインストールされているパソコンに、ドライバソフトをインストールする場合の手順を説明します。



Windows 環境でのインストール手順は、Windows 98/2000/Me ともに共通です。ここでは、Windows Me の画面で説明します。



本製品とパソコンは、まだ接続しないでください。

1. Windows を起動します。
2. 付属の「LDP-FD32 ソフトウェアパック」というCD-ROMを、CD-ROMドライブにセットします。

3. [マイコンピュータ]アイコンをダブルクリックして、「CD-ROMドライブのアイコン」をダブルクリックします。



CD-ROMドライブの自動挿入機能が有効になっている場合には、自動的にセットアップランチャーが起動します。

4. 「LDP-FD32 ソフトウェアパック」というウィンドウが表示されますので、[ソフトウェアの選択]リストボックスで「LDP-FD32」のアイコンをクリックして選択し、「セットアップの起動」ボタンをクリックします。

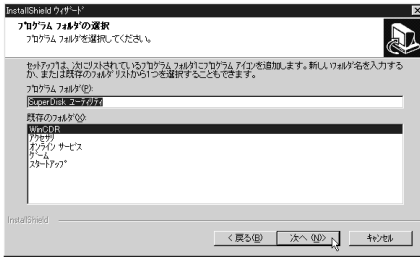


5. 「InstallShieldウィザード」というウィンドウが表示されますので、[次へ]ボタンをクリックします。



6. 「インストール先の選択」と表示されますので、[次へ]ボタンをクリックします。





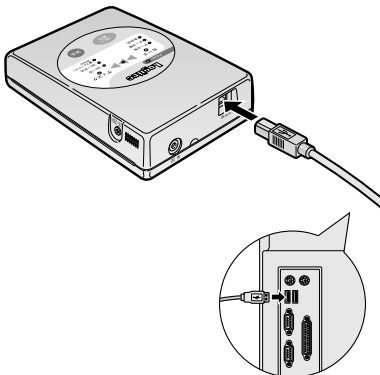
7. 「プログラムフォルダの選択」と表示されますので、[次へ]ボタンをクリックします。



8. 「ファイルコピーの開始」と表示されますので、[次へ]ボタンをクリックします。
必要なファイルがハードディスクに転送されます。

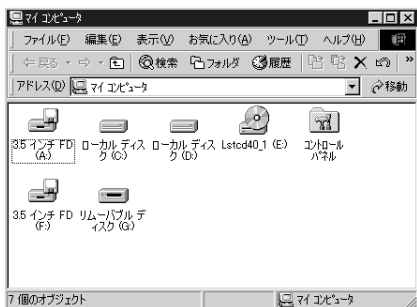


9. 転送が終了すると「InstallShield ウィザードの完了」と表示されます。 「LDP-FD32 ソフトウェアパック」CD-ROMを取り出してから、[はい、今すぐコンピュータを再起動します。]のラジオボタンがオン()になっていることを確認して、[完了]ボタンをクリックします。Windows が再起動します。



10. Windows が再起動したら、付属のUSBケーブルで本製品とパソコンを接続し、電源ケーブルを接続します。

USBはホットプラグをサポートしていますので、パソコンの電源が入っている状態でUSBケーブルを接続しても構いません。自動的にUSB関連のドライバがインストールされます。ドライバのインストールが終了するまでお待ちください。



11. 「マイコンピュータ」を開きます。
「3.5インチFD」のドライブアイコンと、「リムーバブルディスク」のドライブアイコンが追加されていることを確認してください。



- 追加される「3.5インチFD」と「リムーバブルディスク」のドライブ名は、システムにより異なります。
- それぞれのドライブアイコンは、以下のスロットに対応します。
「3.5インチFD」のドライブアイコン：メモリーカードスロット
「リムーバブルディスク」のドライブアイコン：ディスクスロット

これで、本製品を外付けのディスクドライブとして使用できるようになりました。

ステップ2: メモリーカードまたはディスクにアクセスする



「ケーブルの接続とメディアのセット」(P.16)

1. メディアをセットします。
メモリーカードをセットする場合は、適切なPCアダプタに装着してから、本製品のメディア挿入口(MC)にしっかりと押し込みます。ディスクをセットする場合は、メディア挿入口(SD)にセットします。カチッと音がするまで押し込んでください。

2. パソコンで「マイコンピュータ」を開きます。
セットしたカードにアクセスするときは、「3.5 インチ FD」のドライブアイコンをダブルクリックします。
セットしたディスクにアクセスするときは、「リムーバブルディスク」のドライブアイコンをダブルクリックします。

2回目からは、本製品とパソコンをUSBケーブルで接続し、電源を入れてメディアをセットすれば、「マイコンピュータ」でカードまたはディスクの内容にアクセスできます。

2

本製品の取り外しについて

本製品をパソコンから取り外すと、追加されていた「3.5 インチ FD」と「リムーバブルディスク」のドライブアイコンが削除されます。



- ・ 本製品をパソコンから取り外す場合は、パソコンの電源は入っていても構いませんが、必ずカードをイジェクトしてから接続を外してください。
- ・ アクセス中には、絶対にUSBケーブルを外さないでください。
- ・ パソコン本体がスリープ状態にある時には、本製品の取り外しは行わないでください。

Windows2000 の場合のみ

本製品はUSB機器ですが、PCカードスロットとしても認識されますので、そのまま取り外してしまうと不整合が生じてしまいます。このため、本製品をパソコンから取り外す場合は、以下の手順を行ってください。



1. タスクバーに表示されているPCカードのアイコンをダブルクリックします。
2. 「ハードウェアの取り外し」というウィンドウが表示されますので、「Logitech LDP-FD32 Controller」をクリックしてから、[停止]ボタンをクリックします。





3. 「ハードウェアデバイスの停止」というウィンドウが表示されますので、[OK] ボタンをクリックします。
4. 「'Logitech LDP-FD32 Controller' は安全に取り外すことができます。」と表示されますので、[OK] ボタンをクリックして、LDP-FD32 を取り外してください。
5. 「ハードウェアの取り外し」というウィンドウに戻りますので、[閉じる] ボタンをクリックします。以上で取り外し作業は終了です。

メモリーカードまたはディスクのイジェクト(取り出し)について

本製品にセットしたメモリーカードおよびディスクをイジェクトする場合には、アクセスランプが「点滅」していないことを確認してから、取り出してください。



「メモリーカードの内容をディスクにコピーする」の手順 5 (P.19)



- ・アクセス中には、絶対にメモリーカードおよびディスクのイジェクトを行わないでください。
- ・パソコン本体がスリープ状態にある時には、本製品の取り出しは行わないでください。

Windows2000 の場合のみ



1. 「マイコンピュータ」を開きます。
2. 取り出しを行う「リムーバブルディスク」アイコンを右クリックして、表示されるサブメニューから[取り出し]をクリックします。

2

3. スロットからカードを取り出します。

メモリーカードのフォーマットについて

メモリーカードのフォーマットは、メモリーカードをデジタルカメラにセットして行ってください。本製品にセットして、Windows上でフォーマットを行うと、デジタルカメラで使用できない場合があります。

ディスクのフォーマットについて

本製品にセットしたディスクをフォーマットする場合は、以下の手順を行ってください。



1. 「マイコンピュータ」を開きます。
2. フォーマットを行う「3.5 インチ FD」アイコンを右クリックして、表示されるサブメニューから [SuperDisk フォーマットユーティリティ] をクリックします。



3. 「SuperDisk フォーマットユーティリティ」というウィンドウが表示されますので、[開始]ボタンをクリックします。



4. フォーマットが終了すると、「フォーマット終了」というメッセージが表示されますので、[閉じる]ボタンをクリックします。

以上でディスクのフォーマットは終了です。

ドライバの削除について

USB関連のドライバを削除したい場合は、以下の手順を行ってください。



本製品とパソコンが接続されている場合は、接続を外してください。

1. Windows を起動します。
2. [マイコンピュータ]アイコンをダブルクリックし、[コントロールパネル]アイコンをダブルクリックします。
3. [アプリケーションの追加と削除]アイコンをダブルクリックします。
4. 「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」というウィンドウが表示されますので、一覧の中から「LDP-FD32ドライバ&ユーティリティ」をクリックして、[追加と削除]ボタンをクリックします。
5. 「ファイル削除の確認」というウィンドウが表示されますので、[OK]ボタンをクリックします。
6. 「メンテナンスの完了」と表示されますので、[完了]ボタンをクリックします。

以上でドライバの削除は終了です。

管理者制限について < Windows2000 の場合のみ >

Windows 2000 の場合、管理者権限でログオンしていないと、ハードウェアの構成変更や追加、ドライバ/セットアップ情報のインストール等の作業を行うことができません。制限ユーザーの方がパソコンを使用されている場合には、システム管理者の方に作業をご依頼ください。

Macintosh の場合

ここでは、本製品を Macintosh に接続し、外付けのディスクドライブとして使用するときの手順を説明します。

ステップ1： Macintosh につなぐ

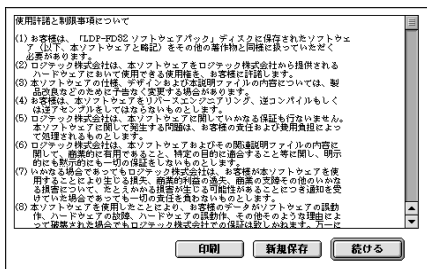
本製品をはじめて Macintosh に接続する場合は、Macintosh に接続する前に、まず付属のドライバソフトをインストールします。

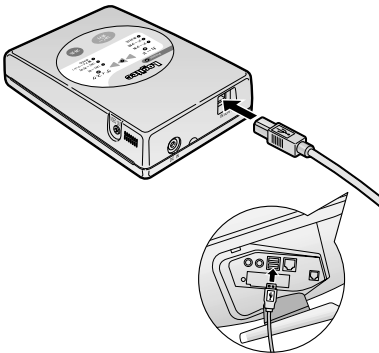
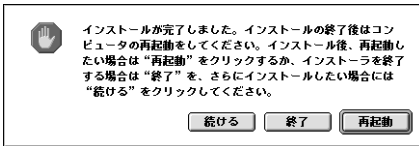
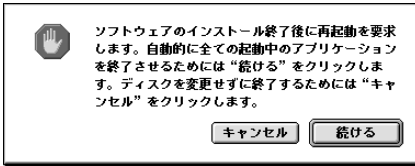


本製品と Macintosh は、まだ接続しないでください。



1. Mac OS を起動します。
2. 付属の「LDP-FD32 ソフトウェアパック」という CD-ROM を、CD-ROM ドライブにセットします。
3. 「LDP-FD32 ソフトウェアパック」というウィンドウが開きますので、「LDP-FD32 インストーラ」アイコンをダブルクリックします。
4. 使用許諾と制限事項が表示されますので、内容を確認して、同意する場合には[続ける]ボタンをクリックします。
5. 「LDP-FD32 インストーラ」というウィンドウが表示されますので、[インストール]ボタンをクリックします。





Macintosh側

6. インストールを続行すると、最後にシステムを再起動する必要があるため、自動的に全ての起動中のアプリケーションを終了する旨のメッセージが表示されます。

他のプログラムなどが動作していないことを確認してから、[続ける]ボタンをクリックしてください。必要なファイルがハードディスクに転送されます。

7. 転送が終了すると、「インストールが完了しました。」と表示されます。

「LDP-FD32 ソフトウェアパック」ディスクを取り出してから、[再起動]ボタンをクリックします。

Macintoshが再起動したら、ドライブのインストールは終了です。

8. 付属のUSBケーブルで本製品とMacintoshを接続し、電源ケーブルを接続します。

USBはホットプラグをサポートしていますので、Macintoshの電源が入っている状態でUSBケーブルを接続しても構いません。キーボードのUSBコネクタへ接続することも可能です。

ステップ2: メモリーカードまたはディスクにアクセスする



「ケーブルの接続とメディアのセット」(P.16)

1. メディアをセットします。
メモリーカードをセットする場合は、適切なPCアダプタに装着してから、本製品のメディア挿入口(MC)にしっかりと押し込みます。ディスクをセットする場合は、メディア挿入口(SD)にセットします。カチッと音がするまで押し込んでください。
2. デスクトップ上に以下のアイコンが表示されます。このアイコンをダブルクリックすると、セットしたカードにアクセスすることができます。
それぞれのドライブアイコンは、以下のスロットに対応します。

- ・メモリーカードスロット



名称未設定

- ・ SuperDisk スロット : フロッピーディスク (FD32MB)



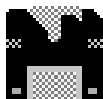
FD32MB

- ・ フロッピーディスク (1.44MB)



名称未設定

- ・ スーパーディスク (120MB)



名称未設定

- ・ スーパーディスク (240MB)



これで、本製品を外付けのディスクドライブとして使用できるようになりました。

2回目からは、本製品とMacintoshをUSBケーブルで接続し、電源を入れてメディアをセットすれば、デスクトップ上でカードまたはディスクの内容にアクセスできます。

メモリーカードまたはディスクのイジェクト(取り外し)について

本製品にセットしたメモリーカードおよびディスクをイジェクトする場合には、必ずアンマウントを実行してください。アンマウントは以下のいずれかの方法で行います。

- ・ デスクトップ上のアイコンをゴミ箱のアイコンに重ねる。
- ・ デスクトップ上のアイコンをクリックして選択状態にして、「特別」メニューの「取り外し」を選択する。
- ・ デスクトップ上のアイコンをクリックして選択状態にして、キーボードから「アップル + E」キーを入力する。

本製品にセットしたメモリーカードおよびディスクをイジェクトする場合には、アクセスランプが「点滅」していないことを確認してから、取り外してください。



- ・ アクセス中には、絶対にメモリーカードおよびディスクのイジェクトを行わないでください。
- ・ Macintosh本体がスリープ状態にある時には、本製品の取り外しは行わないでください。

メモリーカードのフォーマットについて

メモリーカードのフォーマットは、メモリーカードをデジタルカメラにセットして行ってください。本製品にセットして、Mac OS上でフォーマットを行うと、デジタルカメラで使用できない場合があります。

ハードウェア仕様

機種名		LDP-FD32	
インターフェース	TV モード	VIDEO (NTSC)	
	PC モード	USB Specification Version 1.1 準拠	
搭載スロット ^{*1}		メモリーカードスロット(Type) × 1 スーパーディスクドライブ × 1	
平均シークタイム		95ms	
ディスク回転数		1500rpm	
最大データ転送速度	USB	12Mbps (FULL SPEED 対応 / 理論値)	
	SuperDisk	600Kbps	
環境条件 ^{*2}	保管時	温度	-20 ~ 40
		相対湿度	10 ~ 85%
	使用時	温度	10 ~ 35
		相対湿度	20 ~ 80%
入力電圧		DC+12V (AC アダプタより供給)	
消費電力(定格)		9W	
外形寸法(幅 × 高さ × 奥行き)		111 × 40 × 167mm (突起部を除く)	
質量		500 g	

^{*1} 対応メディアについては、本書の「使用可能なメモリーカードについて」(P.10) および「使用可能なディスクについて」(P.10) を参照。

^{*2} ただし結露なきこと。



<http://www.logitech.co.jp/>